九州運輸局　訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業

1.　事業概要

1.1　目的

本事業は、地域連携 DMO である（一社）豊の国千年ロマン観光圏と連携し、日本の 食・食文化に興味を持っており、コロナ禍でのマーケティングデータでも再開後の来訪意向が高くリピート率が高い「台湾」で、その中でも大衆富裕層や既にゴールデンルートは訪れた経験のあるリピーターをメインターゲットに定め、観光資源を活用しながら地域の食に携わる事業者・生産者と交流する滞在交流型ツアーを造成する。

1.2　業務概要

事業名：「大分県北部地域ならではの「食・食文化」
　　をテーマとしたコンテンツ造成事業」

事業対象：大分県北部全域

期間：令和 3 年 6 月 22 日（火）から令和 4 年 2 月 28 日（月）

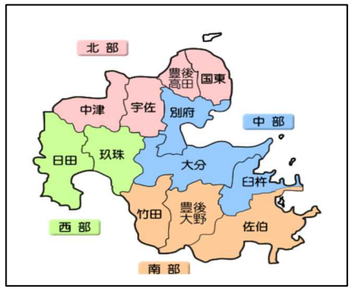


図 1　地図

1.3　業務内容

事業内容を以下に示す。

①　ニーズ調査・分析

大分県北部地域ならではの「食・食文化」をテーマとした商品造成のため、台湾をメインターゲットとし、ターゲットのニーズを正確に把握するため過去 5 年以内に訪日経験のある台湾人 FIT に対し、WEB アンケートによるニーズ調査・分析を行う。

②　滞在型コンテンツ造成検討会

ニーズ調査の結果を基に当地域ならではの「食・食文化」をテーマとしたコンテンツの造成や販売体制、モニターツアー開催後の課題解消等を行う。

③　体験型プログラム等のガイド育成

地域の「食・食文化」を伝え、当該コンテンツを案内できる中国語ガイド育成のため、専門家等を講師としたガイド研修を行う。

④　セミナー開催

A．フードツーリズムマイスター養成講座：食をテーマに地域と旅行者を繋ぐコーディネーター役を担う「フードツーリズムマイスター」を養成する。

B．感染症対策講座：旅行者が安心して安全に旅ができるよう、また、受入側の不安を取り除くため協力施設を対象とした感染症対策研修会を開催する。

⑤　課題抽出のためのモニターツアー

フードツーリズムの専門家や日本在住の台湾人等を対象としたモニターツアーを実施し、造成したコンテンツの魅力がターゲットに伝わるか検証する。

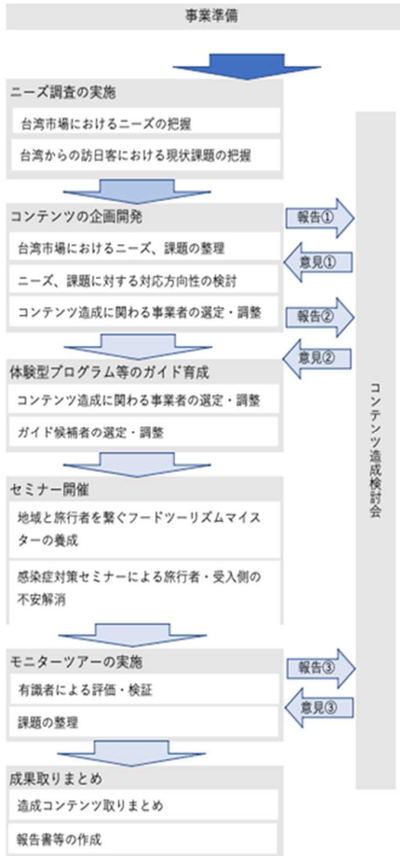


図 2　フロー図

1.4　事業工程

本事業の工程を以下に示す。

	6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
(1)ニーズ調査	実施スケジュール（事業計画書）の検討・作成	事前設計	実査・分析							
(2)コンテンツ造成検討会			調査結果反映	検討会１回目 _8/25			検討会2回目 _11/9		検討会3回目 _1/14	コンテンツ発表会_2/14
(3)ガイド育成						ガイド育成 1 回_10/10	ガイド育成 2回_11/7	ガイド育成 3回_12/10		
(4)セミナー							フードツーリズ 1回目_11/29～30	感染症対策講座 _12/8	フードツーリズ 2回目_1/29	
(5)モニターツアー								モニターツアー _12/15～16		
コンテンツ・事業報告										最終報告書作成・提出

表 1　事業工程表

1.5　体制図

体制図を以下に示す。

図 3　体制図

1.6　費用

本事業にかかった経費を以下に示す。　表 2 事業費用

項目	費目	単価	数量	単位	小計
ニーズ調査	運営費	2561 千円	1	式	2561 千円
研修会を兼ねた滞在型コンテンツ造成検討会	運営費	557.5 千円	1	式	57.5 千円
体験型プログラム等のガイド育成	運営費	540 千円	1	式	540 千円
セミナー開催	運営費	1963 千円	1	式	963 千円
課題抽出のためのモニターツアー	運営費	1051 千円	1	式	1051 千円
全体運営管理費	人件費	1300 千円	1	式	1300 千円
合計					8769.75 千円

2.　ニーズ調査・分析

＜検討概要＞
メインターゲットである「台湾」の方々のニーズを正確に把握し、「食・食文化」をテーマとした商品造成に活かすべく、調査を実施した。
＜得られた成果＞
・体験にかけられる費用は 1 回の旅行で「5,000TWD（日本円で約 19,700 円）」という結果であったため、造成する体験コンテンツを含むツアーの体験費用総額はこの金額に収める必要がある。
・観光体験としてニーズの高かった「地獄蒸し」「そば打ち」「農村民泊」は優先的に造成する。

2.1　調査概要

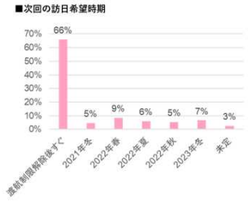
台湾からの訪日客向けのコンテンツを造成するため、彼らのニーズを正確に把握することを目的とし「食・食文化」をテーマとしたニーズ調査を実施した。調査概要及び項目設計について以下に示す。

調査要件		調査票設問
訪日旅行全般に関しての実態把握	調査パネルの属性	Q1　居住地 Q2　性別 Q3　年齢 Q4　職業 Q5　5年以内訪日経験 Q6　訪日旅行の手配方法 Q7　旅行エリア
	訪日旅行関連の実態	Q8　現地で決めたこと Q9　訪日旅行での興味関心テーマ Q10　具体的なグルメニーズ Q11　コロナ感染対策に関するニーズ Q12　訪日後に（旅ナカで）参考になった情報源 Q13　消費金額
本テーマに関しての ニーズ把握	大分県・国東半島に対しての認知度・来訪意向	Q14　大分県・国東半島の認知度 Q15　大分県への来訪経験 Q16　大分県・国東半島来訪意向（資源呈示前） Q17　大分県・国東半島地域資源①来訪意向 Q18　大分県・国東半島地域資源②来訪意向 Q19　大分県・国東半島来訪意向（資源呈示後） Q20　現地体験にかけられる金額

図 4　アンケート設計

調査対象国	条件	パネル
台湾	過去5年以内に、団体ツアーを除く個人旅行で訪日旅行経験がある台湾の男女	・訪日意欲の高い、「WAmazing」のメルマガ登録会員（特徴は右図参照） ・全754名

（参考）WAmazingメルマガ会員の特徴



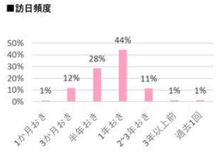


図 5 調査対象者、サンプル数

2.2　調査結果

調査を行った結果以下のことを把握することができた。

(1)　台湾からの訪日客の旅行、および、大分県・国東半島への来訪経験・来訪意向度について

大分県・国東半島に来訪する層の年代について	・回答者全体と比較して、大分県・国東半島に来訪経験がある層は、年代が高い（40 代以上が多い） ・地方に足を延ばしている層は訪日玄人層（訪日回数が平均より多い）であるため、年齢も高めであると推察される
旅ナカでの旅程追加・変更について	・全体の約 97%は旅ナカで旅程の追加・変更を行っている ・追加・変更を行ったこととしては、旅行先（現地）で食べたい物が最も多い。次いで観光スポット、買物したいお店と続く ・回答者全体と比較して、大分県・国東半島に来訪経験がある層は、旅ナカで旅程追加・変更して「観光体験（プログラム）」を行った割合が高い
訪日旅行において興味・関心があるテーマについて	・全体の中で最も多いのは「現地の食・グルメ」で 94.03% ・食関連に興味があると回答した人を対象に、具体的に食べてみたい物を聞いたところ、「寿司など、海鮮を使った料理」が最多であった
訪日旅行の際の感染症対策に対するニーズについて	・最も求められている対策は「従業員がマスクやフェイスガードをしていること」で約 82%が「絶対実施していてほしい」と回答。次いで「客向けにアルコール等の消毒液が設置してあり、ソーシャルディスタンスが保たれていること」で、約 79%が「絶対実施していてほしい」と回答
訪日旅行の費用について	・旅行にかかった費用総額の平均は 51,145TWD（日本円で約 201,512 円）で、日本国内での消費総額の平均は 40,710TWD（日本円で約 160,396 円）であった　※1TWD＝3.94 円で換算
大分県・国東半島の認知度・来訪経験について	・本調査パネルにおいて、全体の約 27%が「行ったことがある」と回答。「行ったことはないが、知っている」が約 40%おり、65%超が「大分県・国東半島」のことを知っているという結果になった ・来訪経験者が楽しみにしていたことの TOP は「歴史的遺跡・建築や伝統的な街並み・施設等を楽しむ」であった
大分県・国東半島の来訪意向度について	・地域内資源を提示する前でも、全体の 94%が「行きたい」と回答。そのうち「非常に行きたい」が 37% ・地域内資源を提示した後は、全体の 97.35%が「行きたい」と回答し、「非常に行きたい」が 50.93%まで上昇 ・具体的な観光資源を目にしたことで、期待が高まり、来訪意向度が上昇したと推察される
大分県・国東半島のご当地グルメに関するニーズについて	・「非常に行きたい・体験したい」の TOP は「姫島車えび料理」で 58.32%。次いで「牡蠣焼き（57.37%）」「地獄蒸し料理（56.72%）」 ・「行きたい・計」で見ると、TOP は「地獄蒸し料理（96.66%）」
大分県・国東半島の観光体験に関するニーズについて	・「非常に行きたい・体験したい」の TOP は「地獄蒸し体験」で 48.21%。次いで「そば打ち体験（36.65%）」「農村民泊家庭での体験（32.93%）」 ・「行きたい・計」も同様の順位となった

図 6 調査結果概要

2.3　調査結果の反映

調査を行った結果、以下の対応を行った。

・体験を含むツアーを造成する際、体験費用総額は「19,700 円」以内を目安とする。
（ただし、農村民泊のように宿泊を伴うケースは別途宿泊代が多少かかっても良い）
・観光体験としてのニーズが高かった「地獄蒸し体験」「そば打ち体験」「農村民泊家庭での体験」は優先的にコンテンツの造成を行う。

3.　滞在型コンテンツ造成検討会

＜検討概要＞
当地域ならではの「食・食文化」をテーマとしたコンテンツの造成や販売体制、モニターツアー開催後の課題解消の検討等を行った。
＜得られた成果＞
・調査結果や有識者意見の反映、モニターツアーでの課題解消等について検討を行い、計７件の体験プログラムを造成した。
・ツアーのテーマや交通手段について検討を行い、計２件の滞在交流型ツアーを造成した。

3.1　滞在型コンテンツ造成検討会の実施概要

以下の日程において各地域それぞれ滞在型コンテンツ造成検討会を実施した。

表 3　滞在型コンテンツ造成検討会実施例

	滞在型コンテンツ造成検討会日程			
	時間	場所	参加人数	テーマ
第１回	令和３年８月 25 日（水） 14 時～16 時	オンライン	21 人	・ ニーズ調査結果報告 ・ 造成コンテンツのアイデア出し
第２回	令和３年 11 月９日（火） 13 時半～16 時	APU PLAZA OITA	13 人	・ 造成コンテンツ案の発表 ・ 有識者よりポイント解説
第３回	令和４年１月 14 日（金） 13 時半～16 時半	APU PLAZA OITA	12 人	・ モニターツアー総括 ・ プラン名、モデルルート検討
第４回	令和４年２月 14 日（月） 13 時～14 時半	オンライン	13 人	・ 造成コンテンツの発表 ・ モデルルート提案 ・ 販売整備説明会

3.2　磨き上げの方針

訪日外国人向けの磨き上げの方針は、滞在型コンテンツ造成検討会を通して、以下の３点に留意して磨き上げを行うこととした。

①　訪日外国人目線で磨き上げること-主な想定対象：台湾の訪日リピーター層・大衆富裕層

②　有識者の声を可能な限り反映させること（下記は一例）
・コンテンツの付加価値を高めるためには「ストーリー性」「ロケーション」「受入体制」を検討すること
・台湾人向けには３つのポイント「映え度」「印象度」「リピート度」を考慮する必要がある
・ルート造成にあたっては、「移動手段」「訴求するテーマ設定」が重要なので、近隣地域との連携体制を強化して欲しい

③　モニター参加者の声を可能な限り反映させること

3.3　意見抽出と対応表

滞在型コンテンツ造成検討会の結果を踏まえ、コンテンツの方向性について検討した。以下に参考となった意見及び造成コンテンツの方向性について示す。

表 4　抽出された意見及び造成コンテンツの方向性（一例）

	施設・体験名称	抽出意見（問題提起）	打ち手（課題、手段）
①	たまちゃんファーム（農家民泊）	滞在中のスケジュールが分からない	簡易的なスケジュールを用意して渡す
②	豊後高田そば道場	台湾人は温かい食を好む傾向があるため、冬にざるそばは寒い	冬の時期は温かいそばを提供できるようにする
③	是垣商店（宇佐飴づくり体験）	宇佐神宮との関係性・ストーリーが知りたかった	宇佐神宮のガイドと宇佐飴づくり体験をセットにする
④	ねばり腰一本農園	自然薯が高価なもの故に、収穫するときに非常に多くの注意を受け、参加者としてはやりづらかった	出荷用の畑と体験用の畑を分ける
⑤	みどりさん家（農家民泊）	HP で調べた際に客間に仏壇や屏風が並んでおり、怖そうという印象を受ける人もいる	お客さんを受け入れるときは仕切りを入れて見えないようにする
⑥	清末農園（しいたけ収穫体験）	収穫したしいたけをその場で調理して食べることが出来れば理想だが、対応できる農家が少ない	近隣の農家レストランで調理して提供できるようにする
⑦	清末農園（しいたけ収穫体験）	世界農業遺産に認定されている地域でのしいたけ栽培であるという価値をより生かした方が良い	説明書を用意する 生産者による説明の際に世界農業遺産に認定されている説明を加える
⑧	松山堂（手作り葛アイス体験）	体験場所が人数の関係で、公共施設の調理室だったので、和菓子屋さんの作業場の雰囲気を味わえなかった	人数を制限して、実際に使用している作業場で行う
⑨	松山堂（手作り葛アイス体験）	体験の実施前になぜこの土地でこの体験をするのか？を理解できるようにして欲しい	はじめにパンフレットを配布し、町やお店の説明をする
⑩	鉄輪温泉の散策と地獄蒸し体験	食材の説明があると、より価値を感じられる体験になると思う	メニューや食材のこだわりについても伝える
⑪	ツアー全体	ツアー行程は、地域の特色や歴史がわかる観光名所と組み込んで欲しい	行程にはテーマに沿ったスポットを組み込む
⑫	ツアー全体	説明資料、パンフレットが用意されているとより伝わる	外国語の Web 情報・説明資料の充実は今後の課題

4.　体験プログラム等のガイド育成

＜実施概要＞
・当地域の「食・食文化」を伝え、造成したコンテンツを案内できる中国語ガイドの育成のため、地域のコーディネーター等を対象とした中国語のガイド育成研修会を開催した。
＜得られた成果＞
・ガイド育成研修会を３回実施し、延べ２０名が受講した。

4.1　ガイド育成研修会の開催

10 月 10 日に第１回ガイド研修会を開催した。座学形式として行い、通訳ガイドの基礎と大分県の食文化・郷土料理について幅広く学べる内容とした。

11 月 7 日に第２回ガイド研修会を開催した。現地実習形式として行い、そば打ちを実際に体験しながら、講師による通訳レクチャーや意見交換を行った。

12 月 10 日に第３回ガイド研修会を開催した。現地実習形式として行い、大分の郷土料理であるだんご汁づくりを実際に体験しながら、講師による通訳レクチャーや意見交換を行った。

表 5　ガイド育成研修会開催例

	ガイド育成研修会日程			
	時間	場所	受講人数	テーマ
第１回	令和３年 10 月 10 日（日） 13 時半～16 時	APU PLAZA OITA	８人	通訳ガイドの基礎、大分県の食文化・郷土料理
第２回	令和３年 11 月 7 日（日） 10 時半～13 時半	豊後高田そば道場	５人	そば打ち体験の現地研修
第３回	令和３年 12 月 10 日（金） 11 時半～14 時半	アストくにさき・ たまちゃんファーム	７人	だんご汁づくり体験の現地研修・農泊家庭の現地見学

図 7　ガイド育成研修会の様子

5.　セミナー開催

＜実施概要＞
・食をテーマに地域と旅行者を繋ぐコーディネーター役を担う「フードツーリズムマイスター」を養成するフードツーリズムマイスター養成講座を開催した。
・旅行者が安心して安全に旅ができるよう、また、受入側の不安を取り除くための感染症対策講座を開催した。
＜得られた成果＞
・フードツーリズムマイスター養成講座を２回実施し、計１５名が受講した。
・感染症対策講座を１回実施したことに加え、録画配信を行った。

5.1　セミナーの開催

＜フードツーリズムマイスター養成講座＞

第１回フードツーリズムマイスター養成講座は、11 月 29 日~11 月 30 日の２日間にわたり実施した。

第２回のフードツーリズムマイスター養成講座は、新型コロナウィルス感染拡大状況を考慮し、オンラインでの開催とした。また受講者が参加しやすいようプログラム時間の見直しを行い１月 29 日に実施した。

＜感染症対策講座＞

感染症対策講座は、オンラインで 12 月 8 日に開催した。講座の内容は録画し、当日受講できなかった希望者に対して視聴が出来るように録画配信を行った。

表 6　フードツーリズムマイスター養成講座実施例

	フードツーリズムマイスター養成講座日程			
	時間	場所	受講人数	テーマ
第１回	令和３年 11 月 29 日（月） ～11 月 30 日（火）	別府亀の井ホテル　２階 高崎の間	６人	・フードツーリズムマイスター養成講座 ・特別講義：フードツーリズムプランニング
第２回	令和４年１月 29 日（土） 9 時～16 時 45 分	オンライン	９人	同上

表 7　感染症対策講座実施例

	感染症対策講座日程			
	時間	場所	受講人数	テーマ
第１回	令和３年 12 月 8 日（水） 14 時～15 時半	オンライン	当日２人+ 録画配信	・現在の状況と第６波の到来 ・ワクチン・検査パッケージ ・ハワイの事例

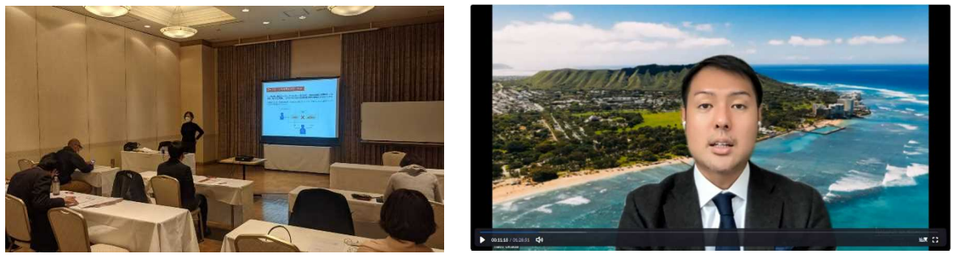


図 8　セミナーの様子

6.　課題抽出のためのモニターツアー

＜検討概要＞
・フードツーリズムの専門家や日本在住の台湾人等を対象としたモニターツアーを行い、企画開発したコンテンツの魅力がターゲットに伝わるか検証し、具体的な評価に基づき、改善すべきポイントを明確にする。
＜得られた成果＞
・モニターツアーを行った結果、コンテンツ・地域側の受入課題の洗い出し、改善策の整理を行う

6.1　モニターツアーの開催

12 月 15 日～16 日にモニターツアーが開催された。モニターツアーにはそれぞれ有識者が参加し、専門的な観点から課題点を抽出した。

表 8　モニターツアー開催例

	モニターツアー日程			
	時間	場所	参加有識者	人数
第 1 回	令和 3 年 12 月 15 日～16 日	大分県北部地域 (別府市、日出町、中津市、宇佐市、杵築市、豊後高田市、国東市)	コンテンツ造成の有識者 ・小宮　衣子氏 ・洪　禹夏氏 日本フードツーリズム協会 ・ 台湾出身の訪日旅行専門家 ・ 本事業中国語ガイド講師 ・ 在留台湾出身一般モニター ・ ・	7 人

図 9　モニターツアーの様子

6.2　モニターツアー結果

モニターツアーより以下のような意見を収集し、各コンテンツの解決策を検討した。

表 9　抽出された意見及び造成コンテンツの解決策（一例）

コンテンツ名	モニター意見	解決策	改善実施有無 (2022 年 2 月末時点)
大分郷土料理だんご汁づくり体験と農家民泊	滞在中の簡易スケジュール表を用意	簡易スケジュールの作成を事業者へ依頼	実施済み
農村民泊家庭で椎茸の調理と昼食	着座で食べさせた方が良いのではないか	室内で食事を取るなど、事業者と調整	実施済み
そば打ち体験	説明を兼ねた多言語パンフレットがあった方が良いのではないか	通訳ガイド付プランの造成	実施済み
宇佐飴づくり体験	単純作業の為体験にメリハリがあると良い	宇佐神宮のガイド＋宇佐飴体験プランの造成	実施済み
自然薯堀り体験・自然薯ごはん	事前に体験内容・栽培法の説明が欲しい	体験前の説明実施を事業者へ共有、通訳ガイド付プランの造成	実施済み
耶馬渓）農家民泊体験みどりさん家	床の間・仏壇など寝室のイメージではない	仕切りの設置等、事業者と調整	実施済み
安心院）農家民泊体験／天空の庵ふきの屋	単価を上げるべきではないか	体験の見直し等を図り、適正価格の調整を行う	実施済み
原木しいたけホダ場見学とシイタケ収穫	世界農業遺産・シイタケについて、詳しく説明が欲しい	体験前の説明実施を事業者へ共有、通訳ガイド付プランの造成	実施済み
果実の手作り葛アイス体験	公共施設の調理場での体験は日本らしさにかけるのではないか	人数制限し和菓子工房にて実施	実施済み
鉄輪温泉の散策・買物と地獄蒸し体験「柳屋」蒸しコンシェルジュ付	好き嫌いもある為、事前に食材が把握できると良い	メニュー・食材の拘りをプラン詳細等への記載	実施済み

7.　事業成果

＜検討概要＞
・造成された商品について、設定していたアウトプットおよびアウトカムについて比較する。
＜得られた成果＞
・想定していた目標（KPI）に対し、全指標において上回る形となった。

7.1　事業目標に対する成果

①体験プログラム造成件数５件の目標に対し７件となり達成した。
②滞在交流型ツアー２件の目標に対し２件となり達成した。
③滞在型コンテンツ造成検討会３回以上の目標に対し、３回となり達成した。
④ガイド育成研修会３回以上の目標に対し、３回となり達成した。
⑤セミナー（フードツーリズムマイスター・感染症対策）２回以上の目標に対し、３回となり達成した。

表 10　コンテンツ発表会実施例

	項目	目標	実績（2 月 28 日時点）	備考
アウトプット	体験プログラム造成件数	5	7	
アウトプット	滞在交流型ツアー	2	2	
アウトカム	販売予定商品数	－	－	７件販売予定 販売開始時期：３月末 掲載先：WAmazing Activity（訪日外国人向け体験予約サイト）

7.2　造成されたコンテンツ

ニーズ調査より台湾人 FIT 層の需要が見込めるコンテンツを中心に、地域の食・食文化を基軸に、地域の魅力をよく知る観光地域づくりマネージャーと共に造成。モニターツアーでの実体験を通し得た改善ポイント（ストーリー解説のためのガイドを追加し単価 UP 等）を加味し磨き上げを行った。

表 11　コンテンツ造成一覧

NO	エリア	地域名	新規	パッション	コンテンツの名称（略）	概要（抜粋）
1	大分	豊後高田市		Cuisine	そば打ち体験	西日本一の生産量を誇る、豊後高田の蕎麦。全国で「そば打ち体験」ができるところは他にもあるが、このそば打ち体験は『とにかく丁寧に教えてくれて、分かりやすい』と体験者から高評価。
2	大分	宇佐市	✔	Tradition	宇佐神宮ガイドと宇佐飴づくり体験	年間 150 万人以上が参拝に訪れ、国宝にも選ばれている「宇佐神宮」。そんな宇佐神宮のガイド付きツアーと、参道の老舗「是恒商店」での宇佐飴づくり体験がセットに。
3	大分	日出町	✔	Cuisine	自然薯収穫＆ランチ	大神の豊かな大地で育った、ねばりの強い自家栽培の自然薯「ねばり腰一本」を収穫！収穫した自然薯は昔ながらのすり鉢ですって、炊きたてのご飯にたっぷりかけて味わいます。
4	大分	中津市		Relaxation	「みどりさん家」で農家民泊体験	宿名にもなっている「みどりさん」夫婦が営む農村民泊。自分の畑で栽培した野菜をはじめ、使用する食材の 9 割以上は地元産。鮮度抜群な食材を、季節ごとの楽しみ方で提供する。“味”と並ぶもう 1 つの魅力は、オーナー夫妻の人柄。
5	大分	国東市	✔	Cuisine	原木生しいたけ収穫体験と農家レストランでの昼食	国東半島ではクヌギを使った循環型の農林水産業が世界農業遺産に認定されており、品質も高い。椎茸生産農家のホダ場で原木しいたけ収穫をし、収穫した椎茸は農家レストランでいただきます。
6	大分	別府市	✔	Cuisine	別府鉄輪地獄蒸し体験	「地獄」と呼ばれる 100℃の蒸気で、新鮮な野菜や肉・魚類を一気に蒸し上げる、別府・鉄輪温泉の名物「地獄蒸し」。名温泉地・別府の魅力を「食」でも堪能できるコンテンツ。
7	大分	杵築市	✔	Cuisine	葛アイス作り体験	季節のフルーツをふんだんに使い、地元で杵築市内唯一の老舗和菓子店「松山堂」が葛アイス作りを分かりやすくお教えします。

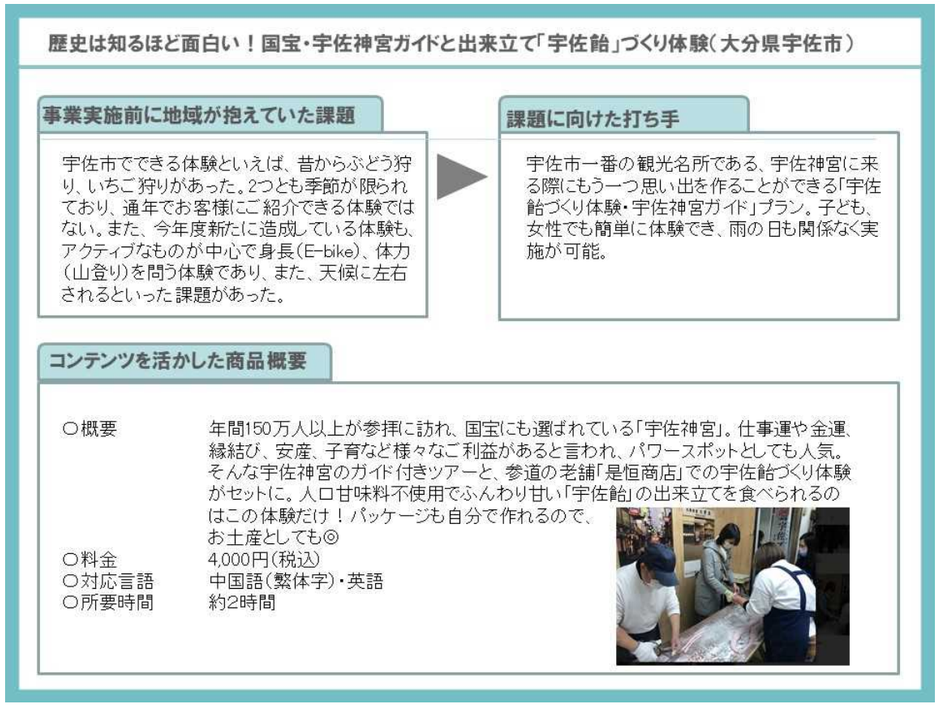


図 10　造成したコンテンツ一例